

放課後等デイサービス自己評価表 事業所名:めぶみ 令和7年度

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			定員とスペースは適切です。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか		○		活動の内容によっては職員の人数が少ないので新しい職員を検討します。また、男性職員の手も必要なので男性職員の採用も検討します。
	③ 事業所の設備等についてバイアフリー化の配慮がなされているか	○			事業所の外のスロープから施設内に車椅子で入れるようになっています。
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに職員が参加しているか		○		目標設定と振り返り時に参加できなかった職員への引継ぎが不十分な所があるのでスムーズにできるよう考えていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者の意見を伺い、改善が必要な所は職員間で話し合いをして少しずつ見直しできるように努めます。
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会が確保されているか	○			職員全員web研修に参加しているが今年度は外部研修に行けなかったので今後、なるべく研修に行けるよう体制を整えます。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか		○		現状、中高生のニーズを把握できていないので関わりの中でニーズを引き出し分析していきます。
	⑨ 活動のプログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは職員間で話し合い案を出し合いながら考えています。
	⑩ 活動プログラムが固定化しないよう工夫をしているか	○			固定化している活動は全く同じにならないよう少し変えて新しいプログラムにしています。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			平日は短時間でできる課題の設定をして必ず取り組んでいます。休日や長期休暇時は普段できない課題(買い物学習等)に取り組んでいます。

適切な支援の提供	⑫	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか	○			主に時間が取れる土曜日や長期休暇に集団活動を行い、平日は個別活動を行っています。
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか			○	役割分担はしていますが、長期休暇になると事前の打ち合わせが不十分になることがあるので今後、改善していきます。
	⑭	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			○	支援終了後に打ち合わせができない場合はグループラインの活用や次の日に振りかえりを行っています。
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検討改善につなげているか	○			日々、記録をとり職員と情報の共有を行っています。
	⑯	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか			○	関係機関での会議後、職員に報告を行い、支援方法を考えていますがやり方など見直しが必要です。
適切な支援の提供	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したふさわしい者が参加しているか	○			担当者が会議に参加しています。
	⑱	学校との情報共有(行事予定、下校時間の確認)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と情報の共有を行っています。直接話ができなかった時は電話で情報の共有を行っています。
	⑲	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っているか	○			新1年生が利用になる場合は会議で保育園や幼稚園での様子を情報共有して関わりにつなげています。
	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか			○	研修案内は来ていますが研修受講までは至っていません。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者に伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳の活用や送迎時に保護者に伝えています。場合によっては電話連絡を行っています。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者に対してペアレントトレーニングの支援は行っていません。
	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	○			契約時に書面で説明を行っています。また内容の変更があった時はその都度案内を出し説明を行っています。
	㉔	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から子育ての相談があった場合は状況を伺い、事業所でできる支援方法をお伝えして実践しています。

保護者への説明責任等	②⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の連携の機会が少ないので今後、検討していきます。
	②⑥	子どもや保護者からの苦情について対応の体制の整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情の内容によっては1度持ち帰り、職員間で話し、保護者に返答をしています。また、外部の方に相談をしてアドバイスをいただくこともありました。
	②⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報の発行はしていませんが月1回の余暇活動や長期休暇の活動内容の案内は発信しています。
	②⑧	個人情報に十分注意しているか		○		十分注意をしています。
	②⑨	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		状況に応じて絵カードや文字書き等で意思疎通を行っています。
	③⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行事に地域住民を招待できていません。
非常時等の対応	③①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか		○		緊急時や防犯、感染症対策のマニュアルを策定して職員と共有しています。今後、保護者に周知していきます。
	③②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		年1回地震、火災時の避難訓練を行っています。
	③③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか		○		施設内で研修を行っています。また、外部研修に参加した時は職員間で研修内容の共有をしています。
	③④	どのような場面のやむおえず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で放課後等サービス計画に記載しているか		○		今のところ身体拘束を行う児童の利用はありません。
	③⑤	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか		○		食物アレルギーのある子どもの保護者に状況に応じて確認を行い対応しています。
	③⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事業所内でひやりはつがあった場合は必ず記録に残し、職員間で共有して事故防止に努めています。